

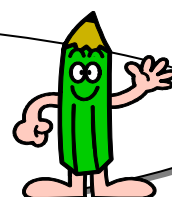


カンムリウミスズメ

ふれあい

平成22年7月 NO4
発行 門川町教育研究所
所長 新原とも子
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

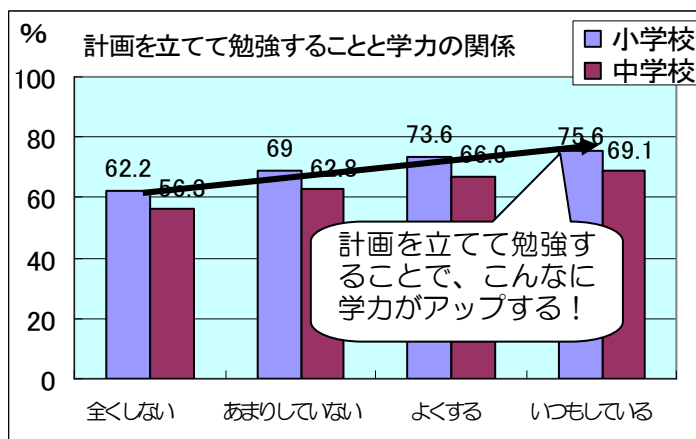
夏休みは、自分から勉強する力をのばす、チャンスです！
夏休みの家庭学習を充実するために、子どもたちをサポートする
“4つの工夫”を紹介します。



夏休みに、“グングン”力を伸ばすための、4つのポイント！

1 夏休みマイプランをつかって、目標をもたせましょう！

平成22年度全国
学力調査結果より



昨年度の全国学力調査の結果、小学6年・中学3年とも、計画を立てて勉強している子どもの方が、そうでない子どもに比べて、国語・算数(数学)で、約10%以上もの学力差がありました。

この結果から、自分で計画を立てて勉強することが、学力につながっていることがわかります。夏休みは、計画を立てて勉強する力を身に付ける、チャンスです。

夏休み生活表(学年に応じてつくりましょう)

6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	⑩	11
睡 眠	朝 食 など	自 由	起きる時間と朝食の時間で一日の生活が決まります！		勉 強	昼 食 など	自 由	手伝いは、一日のどこかに必ず位置づけます！		手 伝 い	夕 食 など	勉 強	寝る時刻は変えません！			睡 眠	

夏休み計画づくりポイント

- ① 起きる時刻、寝る時刻は変えません。
- ② 食事の時刻は、決めておきます。
- ③ 夜の勉強は必ず入れます。
- ④ テレビやゲームのルールをつくります。
- ⑤ 午前中・午後にも勉強を入れます。
- ⑥ 手伝いを決めて必ず計画に入れます。

家の人のサポートポイント

- ① 計画づくりにアドバイスします。
- ② 学年に応じて、点検や声かけをします。
- ③ 食事をしっかりとらせるようにします。
- ④ 必ず手伝いをさせるようにします。
- ⑤ 決まった場所で勉強させます。
- ⑥ 時計を準備して、時間を意識させます。

2 常に、見守り・声かけを心がけましょう！

子どもとの関係の原則

- 小学校下学年** することを指示したり、したことをチェックしたりして、よく教えます。
- 小学校上学年** わからないことはアドバイスしたり、ヒントを与えたりして、自分でさせます。
- 中学校1～3年** 必要によって相談にのりますが、見守りや声かけを大切にします。



一番してはいけないことは放任、それから、干渉のし過ぎです。子どもの年齢や発達に合わせて、常に関わりを持つように工夫することが大切です。

3 ほめる・励ます・アドバイスを大切にしましょう！

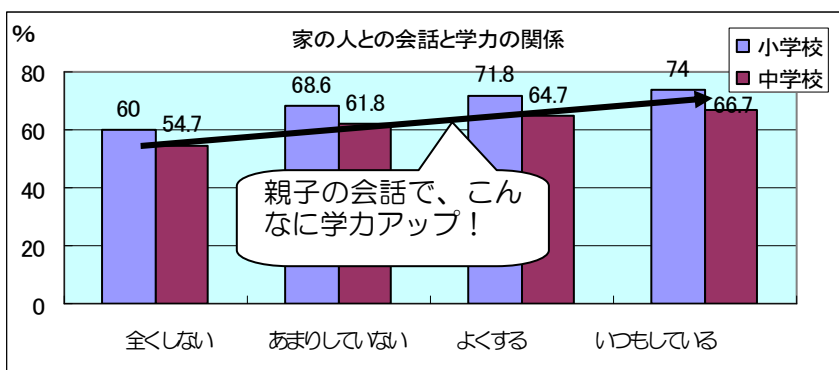
3つの魔法の言葉

- ほめる言葉** よくできたときは、心からほめます。少しでき時は、できたところをほめます。
- 励ます言葉** がんばったことを認め、今よりもう少し前進するように励まします。
- アドバイス** もう一度考えてみて、他の方法を考えてみてなど、考えることをうながすアドバイスをします。



その時だけ怒ってあとは放任が、一番よくありません。子どもは、ほめて伸ばすことが大切です。その中でも、子どもは親にほめてもらうのが一番うれしいのです。

4 家族でいろいろな会話や体験活動を楽しみましょう！



家族の会話やさまざまな体験活動は、学力と深く関係しています。ともに同じ話題を共有する、体験を共有することが家庭教育の基本です。親の言葉や行動が子育てに一番影響を与えます。

教育研究所からのアドバイス

子どもの学力を高めるためには、親の考えや態度、環境づくりが重要です。小さい時には、手をとって教えることが大切です。大きくなったら、手は離しますが目を離さないようにします。さらに成長したら、手も目も離しますが、心を話さないようにすることが大切です。

家庭教育は、子育ての中で一番大切なものです。学校の手が離れる夏休みこそ、「親力」を発揮するチャンスです。子どもとともに育つ夏休みになることを期待しています。

子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）
6 3 - 1 5 6 6

~~~~~返信欄（「ふれあい」への返信がありましたら、担任の先生へお届けください。）~~~~~